

お取引先各位



FMスカイロック安全器の停止不具合品について

はじめに

新型FMスカイロック安全器をご使用中の現場での始業点検において、停止機能が正常に働かないものが発見されました。ご使用前には、必ず始業点検を実施して頂き、停止機能が正常に働くことをご確認ください。始業点検でレールを把持するものは停止機能が正常ですので、そのまま使用頂いても問題はありません。

尚、停止機能が正常に働かないものについては、使用を禁止し弊社の点検を受けて頂きますようお願い申し上げます。

この度発見されました対象製品は、お客様の使用期間が約1年と短いものでしたので、より安心して使用頂けるように、使用期限の延長を目的にロック爪を取替修理させていただきます。

修理対象となるのは、製造年月が2022年5月製までのものとなります。

修理能力に限りがあるため弊社から順次ご案内させていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。

【対象製品】

- FMスカイロック安全器 NS-1型
- FMスカイロック安全器 NS-Y1型
- FMスカイロック安全器 NS-1-550型
- K型FMスカイロック安全器 NFMK-4.5S
- K型FMスカイロック安全器 NFMK-3555W
- K型FMスカイロック安全器 NS-K1
- K型FMスカイロック安全器 NS-YK1
- K型FMスカイロック安全器 NS-K1-550

新型安全器（対象製品）



旧型安全器（対象外製品）

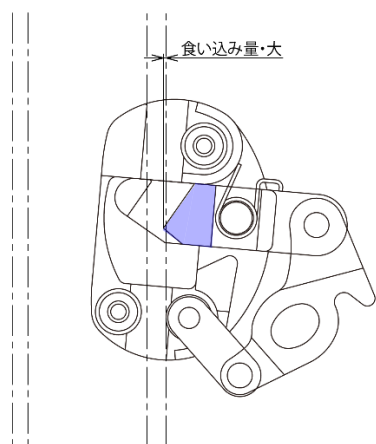


1. 原因

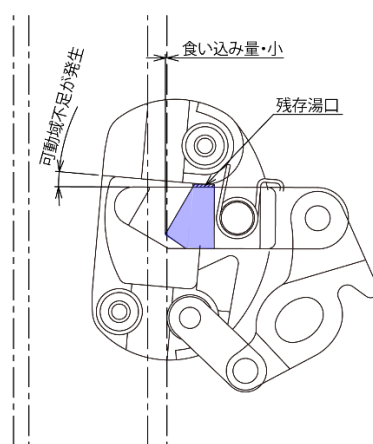
ロック爪の鋳造製造過程において、材料を流し込む「ゲート：以下湯口と表記」の余肉の取り除きが不十分な部品があったため、下図のようにロック爪の可動域が狭まっていました。使用中には安全器の停止動作に伴いロック爪の摩耗が少しずつ発生し、摩耗が進行し残存湯口と本体が接触した時点で不停止状態となる可能性があります。構造上は、それ以降ロック爪の摩耗は進展しません。

履歴調査の結果、約1年で不具合品が発生していました。対策品の場合は、使用環境にもよりますが数年以上の耐用期間があることをシミュレーションで確認しています。

正常品の場合



湯口残存の場合



2. 始業点検のお願い

下記の方法で停止機能を確認して下さい。

停止するものは安全にお使い頂けます。

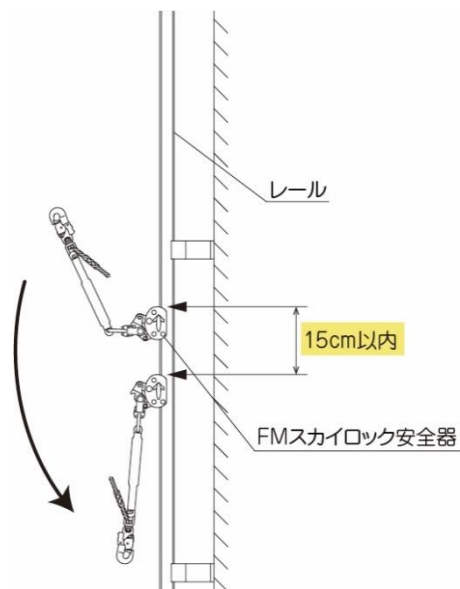
下記に該当する場合は弊社にて点検を受けて下さい。

<点検方法>

- ①右図のように手でフックを持ち上げ、手を離し自由落下させてください。
- ②この動作を2回以上行って下さい。

<使用を禁止し点検が必要なもの>

- 一度でも安全器がレールを把持しないもの。
また、滑り落ちるもの。
- 安全器が停止するまでの距離が一回でも15cmを超えるもの。



【お問合せ先】

〒679-0295 兵庫県加東市上滝野 1573-2

藤井電工株式会社 業務課 電話：0795-48-3851

3. 停止不良品の落下試験

安全帯構造指針に基づき、始業点検で停止不良となった製品を試験した結果、落下阻止できることを確認しています。尚、試験品は自主回収した安全器の内、停止不良品を抽出しました。

試験結果の概要は、以下の通りです。

(1) 試験方法

安全帯構造指針に基づく試験。(砂のう重量：85kg、落下状態：使用状態の自由落下、レールからの離隔：300mm)

(2) 試験品

自主回収による返却品 2品 (レールを把持せず滑り落ちる状態)

(3) 結果

落下阻止の可否：可

4. 今後の対応

始業点検で確実に停止する安全器は安心してお使い頂けます。しかし、1年程度で不具合が生じる場合がある安全器では、安心してご使用頂くことはできないと考え、使用期間の延長を目的にロック爪の取替修理をさせていただきます。

修理能力に限りがあることから、お客様には順次案内させていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。